

*** 目次 ***

表記について

福島県では、「第2次福島県障がい者計画」において、障がいの「害」という漢字の表記について、「障がい」という表記に改めるとともに、可能なところから見直すこととしており、法令上やむを得ないものなど以外、極力「障がい」という表記を用いています。

なお、法令や報告等の引用は実線で囲み、原文通りの表記で記載しています。

コーディネートアイデア（例）の詳しい内容については、各章の目次をご覧ください。

はじめに

コーディネートハンドブックの活用にあたって 1

I 章 みんなで共生社会を目指すために〈目次〉 3

- 1 私たちが目指す共生社会
 - (1) 共生社会とは 4
 - (2) インクルーシブ教育システムとは 6
 - (3) 「障がい」のとらえ方 8
 - (4) 校内で理念を共有・推進するためのコーディネートアイデア（例） 10
- 2 多様な学びの場
 - (1) 多様な学びの場とは 22
 - (2) 通級による指導とは 24
 - (3) 特別支援学級とは 26
 - (4) 特別支援学校とは 28
 - (5) 多様な学びの場の理解を深めるコーディネートアイデア（例） 30

II 章 インクルーシブ教育システム推進のために ～多様性に対応した学校づくり～ 〈目次〉 43

- 1 多様性に応じた学級・授業づくり
 - (1) 多様性を認め合う学級づくり 44
 - (2) 多様性に応じた授業づくり 46
 - (3) 多様性を認め合う学級・授業づくりのためのコーディネートアイデア（例） 48
- 2 全校的な教育支援体制の確立のために
 - (1) 特別支援教育に関する委員会（校内委員会）の役割とは 68
 - (2) 全校的な取り組みのための教職員それぞれの役割 70
 - (3) 教育上特別な支援を必要とする子どもとは～特別支援教育の理念と気づきの観点～
. 72
 - (4) 気づき、つながりを助けるコーディネートアイデア（例） 74

Ⅲ章 気になる児童生徒の指導や支援の充実のために〈目次〉	87
1 特性に応じた指導や支援	
(1) 一人一人の特性等に応じた必要な指導や支援のために～学習指導要領を中心に考える～	90
(2) 障がいの状態等に応じた教育的対応のために	92
(3) 障がい種別の教育的対応のための <u>コーディネートアイディア（例）</u>	94
2 合理的配慮の提供に当たって	
(1) 共に学ぶための仕組みづくり～合理的配慮の役割～	142
(2) 「合理的配慮」と「基礎的環境整備」～二つの関係性を考える～	144
(3) 合理的配慮の決定に当たって～提供までのプロセス～	146
(4) 合理的配慮の観点～3観点11項目～	148
(5) 合理的配慮の提供のための <u>コーディネートアイディア（例）</u>	149
3 個別の教育支援計画について	
(1) 個別の教育支援計画とは～なぜ、作成・活用するのか～	162
(2) 個別の教育支援計画の活用～いつ活用するのか？どうやって活用するのか？～	164
(3) 個別の教育支援計画の <u>コーディネートアイディア（例）</u>	166
4 個別の指導計画について	
(1) 個別の指導計画とは～なぜ作成するのか、どう作成するのか～	182
(2) 個別の指導計画の活用～いつ活用するのか？目的にあった計画の活用へ～	184
(3) 個別の指導計画の <u>コーディネートアイディア（例）</u>	185
Ⅳ章 校外の機関との連携のために〈目次〉	211
1 気になる児童生徒を支える連携	
(1) 気になる児童生徒を支える連携の考え方	213
(2) 保護者との連携で大切にすべきことは	214
(3) スクールカウンセラー（SC）・スクールソーシャルワーカー（SSW）との連携	216
(4) 外部との連携について①～医療等編～	218
(5) 外部との連携について②～福祉等編～	220
(6) 外部との連携について③～就労に向けて～	222
2 教育相談等の力を高める <u>コーディネートアイディア（例）</u>	223
3 医療、福祉、就労等に関する <u>コーディネートアイディア（例）</u>	238
Ⅴ章 具体的な実践から学ぶために〈目次〉	243
小・中学校、高等学校の特別支援教育コーディネーターの具体的な実践	
1 A小学校の取り組み～多忙な中でも、効果的に「つなぐ」「つながる」支援～	244
2 B小学校の取り組み～誰もが学びやすい、働きやすい支援体制づくりを目指して～	246
3 C中学校の取り組み～切れ目のない支援のために～	248
4 D中学校の取り組み～全教職員で全生徒を理解・支援～	250
5 E高等学校の取り組み～予防的な取り組みと組織での対応の充実～	252
6 F高等学校の取り組み～全教職員で生徒を支える取り組み～	254

おわりに